



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 株式会社ZUU 上場取引所 東
 コード番号 4387 URL https://zuu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 富田 和成
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 藤井 由康 TEL 03-4405-6102
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,297	23.7	△209	—	△207	—	△159	—
2021年3月期第3四半期	1,856	63.7	△139	—	△145	—	△124	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 △190百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 △159百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△33.74	—
2021年3月期第3四半期	△28.68	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2. 当社は2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,066	1,282	56.9
2021年3月期	2,054	1,397	63.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,176百万円 2021年3月期 1,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,350	20.1	△293	—	△291	—	△237	—	△50.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	4,749,860株	2021年3月期	4,708,140株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	150株	2021年3月期	150株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	4,732,319株	2021年3月期3Q	4,328,629株

(注) 当社は2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社の決算補足説明資料は決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の普及や緊急事態宣言の解除等により、景気に持ち直しの動きが見られましたが、新たな変異株による感染が拡大されるにつれて、先行きの不透明感も再び高まってきております。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、株式会社電通発表の『2020年 日本の広告費』（2021年2月25日発表）によると、2020年の総広告費は新型コロナウイルスの影響もあり、東日本大震災の2011年以來のマイナス成長となった一方で、インターネット広告費は、社会のデジタル化加速を追い風に引き続きプラス成長。マスコミ四媒体（新聞、雑誌、テレビ、ラジオ）広告費に匹敵する2.2兆円を超える市場規模となっております。

このような環境の中で、当社グループはお客様や従業員の健康・安全を確保するため、全社でのリモートワーク実施、商談のオンラインへの切り替え、社内イベントのオンライン化等の施策を講じるとともに、「世界に、熱を。人に、可能性を。」というミッションの下、「ZUU online」等の自社メディアのユーザー層の拡大、及び他有力メディアとの連携も強力に推進いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,297,655千円（前年同四半期比23.7%増）、営業損失は209,451千円（前年同四半期は営業損失139,592千円）、経常損失は207,873千円（前年同四半期は経常損失145,674千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は159,672千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失124,153千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(フィンテック・プラットフォーム事業)

7月に実装された検索エンジンのアルゴリズム変更の影響により、一時的な落ち込みはありましたが、自社メディアの認知度向上や訪問ユーザー数は順調に推移していることから、送客事業は引き続き堅調に推移いたしました。またMP-Cloud(注1)を中心とするメディアシステム提供・運用支援についても引き続き堅調に推移いたしました。一方でPDCA関連サービス(注2)のタクシーCM等を中心に広告宣伝費等の投資を実施いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高2,257,266千円（前年同四半期比26.7%増）、営業損失は73,916千円（前年同四半期は営業利益41,620千円）となりました。

(クラウド・ファンディング事業)

前連結会計年度より、今後の金融サービス直接運営に向けて体制構築を進めております。当第3四半期連結累計期間は、成立案件数が伸び悩んだことから引き続きコストが先行する状況となり、売上高は52,696千円（前年同四半期比34.9%減）、営業損失は135,534千円（前年同四半期は営業損失181,212千円）となりました。

(注1)：MP-Cloudは、当社のコンテンツマネジメントシステム（CMS）をクラウド化して顧客向けに提供する商品を意味します。

(注2)：当社のPDCAノウハウを活用した組織マネジメントSaaSサービス「PDCA Cloud」およびPDCAノウハウによるコンサルティングサービス「PDCA Engineering」等をSMB中心に提供しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,815,766千円となり、前連結会計年度末に比べ65,349千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が128,684千円、売掛金が192,369千円減少したことおよびその他の流動資産が256,761千円増加したことによるものであります。固定資産は250,276千円となり、前連結会計年度末に比べ76,791千円増加いたしました。これは主に投資有価証券が80,600千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,066,043千円となり、前連結会計年度末に比べ11,441千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は768,585千円となり、前連結会計年度末に比べ126,890千円増加いたしました。これは主に未払金が122,233千円増加したことによるものであります。固定負債は15,231千円となり、前連結会計年度末に比べ90千円減少いたしました。

この結果、負債合計は、783,817千円となり、前連結会計年度末に比べ126,799千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,282,225千円となり、前連結会計年度末に比べ115,358千円減少いたしました。これは主に新株予約権の行使等により資本金が23,271千円増加したことおよび親会社株主に帰属する四半期純損失159,672千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は56.9%（前連結会計年度末は63.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、本日（2022年2月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,253,624	1,124,940
売掛金	539,858	347,488
仕掛品	8,872	7,814
その他	83,832	340,594
貸倒引当金	△5,072	△5,072
流動資産合計	1,881,116	1,815,766
固定資産		
有形固定資産	31,229	27,431
無形固定資産	97	87
投資その他の資産		
投資有価証券	35,000	115,600
敷金及び保証金	91,359	91,359
繰延税金資産	14,247	14,247
その他	1,549	1,549
投資その他の資産	142,157	222,757
固定資産合計	173,485	250,276
資産合計	2,054,601	2,066,043
負債の部		
流動負債		
買掛金	66,921	117,822
短期借入金	19,170	19,170
未払金	165,931	288,164
未払法人税等	115,010	956
その他	274,661	342,470
流動負債合計	641,694	768,585
固定負債		
資産除去債務	15,322	15,231
固定負債合計	15,322	15,231
負債合計	657,017	783,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,285	879,556
資本剰余金	820,636	821,389
利益剰余金	△363,529	△523,201
自己株式	△337	△337
株主資本合計	1,313,054	1,177,406
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△829	△1,214
その他の包括利益累計額合計	△829	△1,214
新株予約権	78,718	100,693
非支配株主持分	6,640	5,340
純資産合計	1,397,584	1,282,225
負債純資産合計	2,054,601	2,066,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	1,856,986	2,297,655
売上原価	468,899	634,852
売上総利益	1,388,087	1,662,802
販売費及び一般管理費	1,527,679	1,872,254
営業損失(△)	△139,592	△209,451
営業外収益		
受取利息	2	8
為替差益	-	311
助成金収入	-	1,479
その他	230	494
営業外収益合計	232	2,293
営業外費用		
支払利息	127	-
為替差損	87	-
支払手数料	6,100	715
営業外費用合計	6,314	715
経常損失(△)	△145,674	△207,873
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1,844
特別利益合計	-	1,844
特別損失		
固定資産除却損	677	-
特別損失合計	677	-
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	△146,351	△206,029
匿名組合損益分配額	-	4,303
税金等調整前四半期純損失(△)	△146,351	△210,332
法人税、住民税及び事業税	13,068	△20,542
法人税等合計	13,068	△20,542
四半期純損失(△)	△159,420	△189,790
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,266	△30,117
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△124,153	△159,672

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△159,420	△189,790
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	317	△384
その他の包括利益合計	317	△384
四半期包括利益	△159,102	△190,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△123,835	△160,057
非支配株主に係る四半期包括利益	△35,266	△30,117

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。なお、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィンテック・ プラットフォーム	クラウド・ ファンディング	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,779,093	77,892	1,856,986	—	1,856,986
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,169	3,000	5,169	△5,169	—
計	1,781,262	80,892	1,862,155	△5,169	1,856,986
セグメント利益 又はセグメント 損失 (△)	41,620	△181,212	△139,592	—	△139,592

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィンテック・ プラットフォーム	クラウド・ ファンディング	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,251,336	46,318	2,297,655	—	2,297,655
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,930	6,378	12,308	△12,308	—
計	2,257,266	52,696	2,309,963	△12,308	2,297,655
セグメント損失 (△)	△73,916	△135,534	△209,451	—	△209,451

(注) 1. セグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。